**大平地域包括支援センター　担当**

* **日　時：　令和５年9月２0日（水）午後２時１５分～２時45分**
* **会　場：　栃木市役所大平総合支所**
* **事例数：　１ケース（R5年3月１5日検討した事例の振り返り）**
* **参加者数： 15名**

**事例提供者１名、助言者7名、包括職員２名**

**傍聴者5名**

**心疾患を患い独り暮らしに不安のある８６歳男性**

**〈目標〉１日： 近所のコンビニまで行くことができる。**

**１年： 年齢と病気と向き合いながら1日1日を大事に生活することができる。**

**利用サービス：訪問介護**

**《前回会議での支援策》**

**支援方針：主治医や家族と相談しながらACP会議を行い、心疾患の病気の管理や筋力低下予防を目指すとともに、栄養バランスの良い食事を摂る生活環境の整備について助言し、自宅での生活を前向きな気持ちで過ごせるよう支援を実施していく。**

**①　本人の意思を尊重出来るように主治医や家族と相談しながらACP会議を行う。**

**②　心疾患等の病気の管理を行い、運動の機会を確保することにより筋力低下を防ぐ。**

**③　前向きな気持ちになれるように自宅で出来る運動や口の体操、体操教室、歴史講座等を紹介する。**

**④　栄養バランスの良い食事を摂ることが出来るよう、盛り付けの工夫やパンフレットの活用などを助言する。**

**《支援結果・状況》**

**①未達成：長女及び長男に意向確認することができたが、ACP会議は実施できていない。**

**②達　成：定期的に病院を受診できており体調は安定している。また、ストレッチを自宅にて毎日行うことにより体の柔軟性や筋力は維持できている。**

**③達　成：社会福祉協議会及び地域包括支援センターからのチラシを中心に情報提供を行っている。友人の運　転にてゴルフに出かけることができた。**

**④未達成：ヘルパーの他に週3回の配食サービスを利用することによりバランスの良い食事の回数が増えたが、摂取状況を確認できておらず今後の課題である。**